

科目名	法学	担当教員	佐藤浩美	
対象年次	配当学期	単位数	対象	必選区分
1	前期	2	全員	選択
授業の概要	<p>我々の日常生活と法には密接な関わりがある。本科目では身近な例題を題材とし、法の役割や法の体系、法の意義、日常生活と法律との関わりなど法学の基礎概念を理解し、法的思考力(リーガルマインド)の基礎を修得し、法の解釈や用語を理解し説明できること、法と事業の関わりを理解しそれを具体的事案と結びつけて解説することができることを到達目標とする。</p> <p>また、食料・農業・農村基本法や農地法など、農業生産に関わる法律の一部についても講義を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律とは何かを理解し、法律の問題について考えることができる。</li> <li>・日常生活に関わる法律問題について、一定の知識と考え方を理解することができる。</li> </ul>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会生活と法(1) ガイダンス 法とはなにか 現代社会と法 法の適用</li> <li>2 社会生活と法(2) 法の解釈</li> <li>3 社会生活と法(3) 法の体系 一般法と特別法 法の種類</li> <li>4 公法(1)</li> <li>5 公法(2)</li> <li>6 民法(1)</li> <li>7 民法(2) (農業に関連する製造物責任法も含む)</li> <li>8 刑事法(1)</li> <li>9 刑事法(2)</li> <li>10 都市計画法・食品表示法</li> <li>11 食料・農業・農村制度総論(基本法、農林水産省設置法など)</li> <li>12 食料関係①(食糧法、卸売市場制度、種苗制度、6次産業化・地産地消、食品表示制度など)</li> <li>13 食料関係②(食育制度、食品安全基本法(リスク分析)、動植物検疫、農薬取締など)</li> <li>14 農業関係(農地の集積・集約化、担い手の育成・確保、経営所得安定、土地改良、農業団体など)</li> <li>15 農村関係(多面的機能の発揮、地域資源の活用(再生エネ)、土地利用制度など)</li> </ol>			
評価方法	試験の結果により評価する。			
教科書	指定教科書はなし。レジュメを配布する予定。			
参考書等	<p>「現代法学入門」(伊藤正巳・加藤一郎)</p> <p>「法の世界へ」(池田・犬伏・野川・大塚・長谷部)</p> <p>「はじめての法律学 HとJの物語」(松井・松宮・曾野)</p> <p>「いちばんやさしい 憲法入門」(初宿・高橋・米沢・棟居)</p>			
事前事後学習	講義の中で配布した文献・資料等を講義後に読むことで、復習をすることが望ましいです。また、事前に事例が配られた場合には、事前に読みどのような結論が導き出されるか考えておいてください。			
備考				